

七  
か  
い



浄土宗西山深草派宗務所

総本山 誓願寺

◆ 目次 ◆

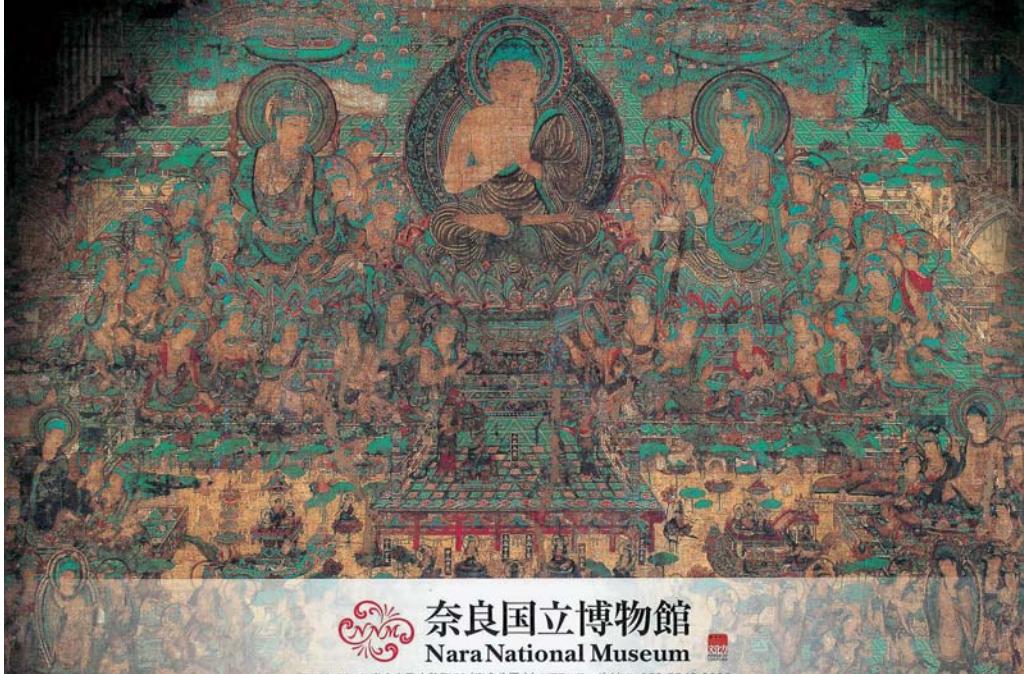
- 慈光 〈第23回〉
- 賢問子行状記 ⑦
- 宮城県石巻市現地見舞研修 10
- お釈迦さまのご生涯 10
- インド  
● タバタ  
● 総本山誓願寺だより  
● 何でも「お寺探偵団」 Vol. 35  
賀森山 豊光院 高雲寺

當麻曼荼羅完成 1250 年記念  
特別展

當麻寺  
—極楽浄土へのあこがれ—

2013.4.6[土] - 6.2[日]

【主催】奈良国立博物館、當麻寺、読売新聞社 【後援】奈良県、葛城市



奈良国立博物館  
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50 (奈良公園内) NTTハローダイヤル 050-5542-8600

重要文化財 奈良國立博物館 (文角本) 部分 (當麻寺) 二〇〇〇年六月六日

たい ま で ら

◆ 奈良国立博物館 特別展「當麻寺」◆

# 慈光 23

「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿弥陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生かさせていただけております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか? タイトルの『慈光』は、鈴木悟道先生のお寺本宿町「慈光院」より拝しました。

## 【啐啄（親子の交流）】

「体で母の温もりを」  
母子ともに最高に幸せな

私どもが、先手かけて  
の生活です。

啐さいとは、真鴨が卵から  
孵かえるおり、殻を中よりつ  
ついて這はい出し、親を搜  
し求めること。

啄たくとは、親鳥が外から  
卵を嘴くちばしでつづいて、「こ  
こだここだ」と雛ひなに知ら  
せること。

啐啄、洵まことにに神秘的な親  
子の交流です。

人間の乳幼児が母に抱  
かれて、足でトントンと  
調子をとりながら  
「目で母の顔を」  
「耳で母の声を」  
「鼻で母の匂いを」  
「肌で母の感触を」

時であり、もつとも神秘  
的な人間の心の交流です。  
ところがこの頃の人間  
はどうでしょう。子ども  
を傷つけ、虐待しておき  
ながら反省の心は少しも  
ない母。乳幼児は親に向  
かって反抗は出来ぬので  
す。

合掌、念佛の生活は、  
私どもの固まつた心を柔  
らかく、汚れた心を清く  
して下さるのです。私ど  
もの心を佛さまが補つて  
下さるのです。

どもにも個性が芽生え、  
親の感情の変化が重なり  
合い、親子関係にも隙間  
が生じて争いが絶えなく  
なり、ひどければ断絶と  
なることでしょう。

それを留めるのが信仰

布教講習所  
慈光院住職

鈴木 悟道

# けんもんしがようじょうき

# 賢問子行状記

## 小島英裕

7

第四話

### 唐にて 賢問子の子が出生

(後編)

を出し「あなたが大きくなつたら、これを父と思って一人前の仏師となるようにと残された大切な宝です」と告げました。

子は「これは父ではない。父に会いたい」と嘆きました。

母に孝行を尽くし、十一歳になつたある時「死に別れたなら父に会えないことも分かります。生きているのなら、たとえ日本や天竺だろうとも会いに行きたい。私は唐より小国へ渡る者であるから、そなたの名を芥子国と名付ける」と命令を出しました。

家に帰ると、母は「芥子国よ、父が残した一番の宝、この鑿で父と対面するのです」。

その言葉を胸に芥子国は長い旅に出発しました。母は声を上げて嘆きつつ見送りました。(つづく)

賢問子の子は話しが出来るようになり、ある時、母に「私の父はいつたいどこにいるの。会わせて欲しい」と泣きました。

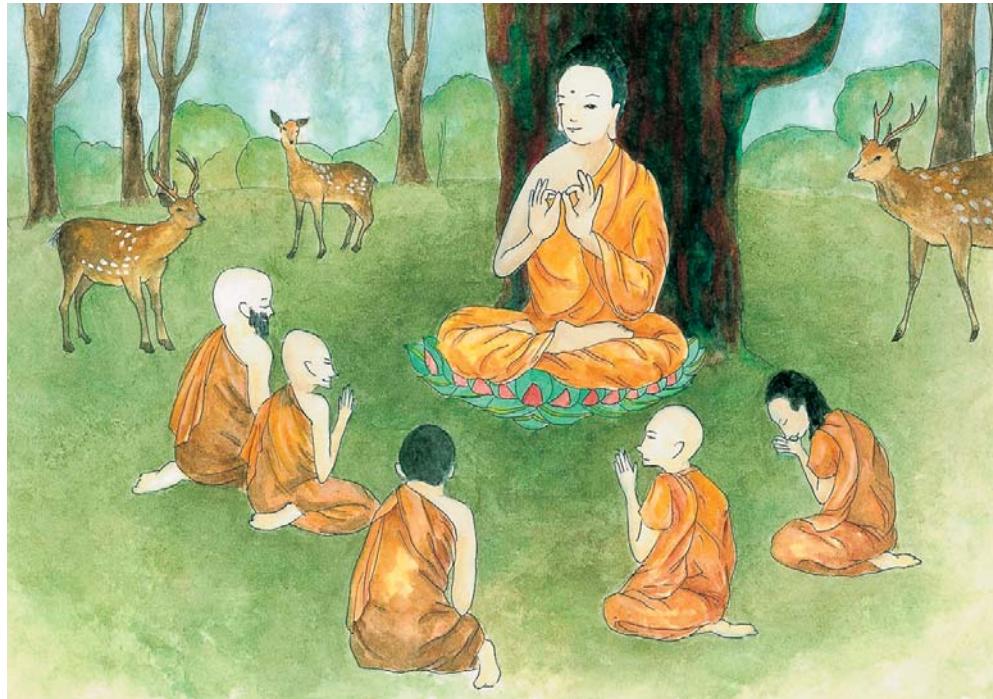
柳宮女は「父は日本人です。不思議なご縁で、皇帝の命により夫婦になりました。ところがあなたがお腹の中で五ヶ月のとき、老いた母親が待つ日本に帰つたのです」と語り、錦の袋より一丁の鑿(のみ)の

私を日本へ渡してください。父に会い、仏師の技術を学び、唐のために役立ちたい」と願いました。役人は「幼年であるが皇帝と会うがよい」と許しました。

皇帝は「幼き者よ、母と別れて日本へ渡り、仏師の技術を得て、我が国のために尽くすとは素晴らしい。日本は粟散国と言い、粟を散らしたような小国である。大国の唐より小国へ渡る者であるから、そなたの名を芥子国と名付ける」と命令を出しました。

家に帰ると、母は「芥子国よ、父が残した一番の宝、この鑿で父と対面するのです」。

その言葉を胸に芥子国は長い旅に出発しました。母は声を上げて嘆きつつ見送りました。(つづく)



初転法輪

文・釈尊法話会 絵・豆田 織奈

# お釈迦さまのびー生涯 10

## 初転法輪

「ゴータマは苦行を辞めた輩だ。絶対に挨拶はしてはならんぞ。立つて出迎えてはならんぞ。衣鉢を受け取ってはならんぞ。席を設けてはならんぞ」

五人の修行者に縁起の理法を説こうと決めたお釈迦さまは、バーナーラシー（現在のベナレス）の鹿野苑に向かいました。途中、アージーヴィカ教徒であるウパカという修行者に出会いました。ウパカはお釈迦さまの立派なお姿を見て尋ねました。

「貴方のお姿は大変ご立派です。どのお方を師匠とされてご出家なされたのですか？」

お釈迦さまは答えました。

「私は誰も師としてはいません。自ら覚つたのです」

ウパカは、

「はあ、そうですか。それはよかつたですね」

と皮肉を言い、お釈迦さまの話をそれ以上は聞かずにその場を立ち去りました。

後に、お釈迦さまが初めてお法なされたこの出来事を「初転法輪」と言われるようになりました。

五人の修行者が用意した席に座つたお釈迦さまは、彼らに自らが覚つた縁起の理法を語り始めました。また人間の苦しみの原因は何であるのか、覚りに至る道はどこにあるのかという四つの真理（四諦説）も語られたのです。お釈迦さまのご説法に耳を傾けた五人の修行者は、縁起の理法や四つの真理を理解し、お釈迦さまの弟子となつたのです。この時、仏教教団が誕生しました。

## 宮城県石巻市 現地見舞研修

浄土宗西山深草派青年会 有志は、二月六日・七日の二日間、宮城県石巻市を中心に、震災復興の現状をお見舞いしました。この研修の目的は、宗教者が仮設住宅の集会所で、お茶とケーキでおもてなしをしながら話を聞く「カフェ・デ・モンク」の活動に参加することができました。

震災復興の現状は、いまだ市内いたる所に震災の傷跡が色濃く残り、現地と我々の認識の違いを痛感させられました。さらに、石巻市立大川小学校や女川町の惨状を目の当たりにした際には、胸が潰れる念を禁じ得ませんでした。

「カフェ・デ・モンク」を通して、被災された方々と接してみて、苦しみや悲しみを心に秘めつつも、勤めて明る

く前向きに生活されている姿には、逆に、我々が元気や勇気を頂けたようで、大変感銘を受けました。

中でも最も印象深かったことは、寺院や僧侶、その他の宗教者の活動です。被災者の方々に時には寄り添い、時には先頭に立つて、自らの役割に精一杯取り組んでおられるその姿には、寺院や僧侶のあるべき姿を見るようでした。

今回の研修において、被災地に対する長期的・継続的な支援の必要性を実感しました。時間の経過に伴つて、記憶は薄れがちではありますか、事あるごとに思い返して、自分ができることを考え実行していきたいと思います。

(青年会 田中宗龍)



現地のお寺さまの話を聴く



女川町被災状況



追悼



大川小学校



## 同じ町で違う世界が…

朝六時前に起床した。  
し、翌二月二十五日（月）早

ガングス川のほとりにある

ヒンドゥー教の有名な聖地バラナシに行くために、素早く身支度をし、セントラル・バ

ススタンドに向かった。前日、エローラ観光バスツアーカラ

戻った時に、そこで予めジャルガオンへの効率の良い行き方と出発時刻を聞いておいたのだ。またカジュラホーで泊

まつたホテルの社長のティワリさんがメモしてくれた紙に、車での移動がお薦めとなつていた。お目当ての乗り合いタクシーの乗り場は、切符売り場や売店がある建物の東側の通り通りに面した方にあり、前日利用したバスの発着場は奥の西側にある。

暫く待つていると一台の白い四輪駆動車が入ってきた。

どうやらアジヤンタ村で乗つた乗り合いタクシーと同じ型の車である。窮屈な思いもせ

ず、六時四十五分に出発し、途中二、三カ所で客を降ろしたり乗せたりして、順調に幹線道路を走った。

小一時間ほど走った辺りで、

突然「パンク！」と爆発音が聞こえ、体に振動を覚えたのだ。と同時に車は路肩に寄つて停車した。パンクである。乗客全員が車外に出ると、助手らしき男が、手際よくスペアタイヤを出し、ジャッキアップしてタイヤの交換を始めた。僕はカメラを片手に、広々とした田舎の日の出の景色を眺めてシャツターナーを切つた。

ちょっととして車の周りを回つて見たら、まあよく使われたタイヤに驚いた。さらに肝心のスペアタイヤまでもがすり減っている。スペアタイヤがパンクしたら次はどうするのだろうかと、一抹の不安を感じたが、その後は何事もなく、ジャルガオンのバススタンドに九時四十五分に到着した。一五〇キロメートル弱の一般道を三時間で走つたのだから、トラブルがあつた割



パンク修理中の乗り合いタクシー

には結構速く走つたものだ。お金が少なくなり銀行を探し廻つてやつとの事で見つけたが、TC（トラヴェラーズ・チェック）の発行会社が違つて歩き、バラナシへの切符を買つてから駅前の大衆食堂に入つた。

このジャルガオンは八九年に来た町で、駅のリタイアリング・ルームで一泊したのに、記憶にはない全く違う風景に、僕は戸惑つていた。思い起せば以前は駅の北側を歩いており、今回は駅の南側を歩き回り、まるで違う町に居るような錯覚に陥つていたのだつた。

## 表紙の解説

## —奈良国立博物館 特別展「当麻寺」—のお知らせ



天平宝字7年(763)に織られた奈良当麻寺の本尊「当麻曼荼羅」は、極楽浄土の世界をあらわした約4m四方の綴れ織です。

西山流祖證空上人は、この図を浄土宗の教の真髓と仰がれ、転写と流布に努められました。

今年は、当麻曼荼羅がこの世に現れて1250年の節目に当たります。これを記念して、奈良国立博物館で特別展が開催されることとなりました。30年ぶりに公開される国宝根本曼荼羅を拝観できる希少な機会です。ぜひお出かけください。(期間中、展示替えがありますのでご注意ください)

## 総本山誓願寺だより

## ◆おもな行事予定

三月

- 十四日(木) 善導忌・六阿弥陀功德日
- 十七日(日)～二十三日(土) 春彼岸
- 二十六日(火)～四月四日(木) 法脈相承

四月

- 六日(土) 花まつり
- 十五日(月) 六阿弥陀功德日
- 二十三日(火)～二十五日(木) 元祖法然上人御忌法要

五月

- 十八日(土) 六阿弥陀功德日
- 十九日(水) 六阿弥陀功德日

六月

- 九日(日) 和泉式部忌
- 十四日(日) 六阿弥陀功德日

七月

- 十五日(木) 六阿弥陀功德日

八月

- 十五日(木) 六阿弥陀功德日

【問題】 賢問子と柳営女の子が皇帝からいただいた名前は何でしょう?漢字3文字でお答え下さい。

○○国

官製はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いて送ってください。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、ハガキにてご本人にご連絡致します。名前の掲載の困る方は、その時にご返事下さい。今回は、高雲寺さまより数珠の腕輪を5名さま、本山謹製線香を5名の方に、合計10名の方に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒四四四-三五二三

岡崎市藤川町字中町南十五

稱名寺内 ちかい編集係

【締切】 五月十日  
(消印有効)

答え  
○○○○○  
郵便番号  
住所  
氏名  
菩提寺(だんな寺)  
感想  
質問等

ちかい 第137号

発行日 平成二十五年三月五日  
発行所 総本山誓願寺

浄土宗西山深草派

京都府中京区新京極桜之町四五三番地

電話(075) 二三二一〇九五八

FAX(075) 二三二一〇一〇一九

E-mail info@fukakusa.or.jp  
URL http://www.fukakusa.or.jp/

## クイズコーナー

何でも

# お寺探偵団

こううんじじ  
高雲寺

Vol.35



## profile

石原庸隆師  
(高雲寺 第27世)  
1935年生まれ  
(77歳)

愛知芸術大学修了  
愛知県立高校教員(県教委派遣海外研修)  
修業委員会委員  
人権擁護委員  
談員  
愛知県立蒲郡高校創立百周年記念  
実行委員長(平成24年11月)  
蒲郡相撲甚句会会長

Q1  
お寺の由来を  
教えてください。

平安時代後期に大和より僧が  
来て草庵を結び、薬師仏を信奉。  
その後も連綿と続き、応永年間に  
禅居という僧が伝統を引き継ぎ  
ました。その後、文亀2年  
(1502)に河内から来た暢賢

Q2  
お寺の宝物は  
何ですか?

「応永13年(1406)三州上  
戸・禅居寺公用」の刻銘のある蒲  
郡指定の文化財があります。も  
う1点、平安時代後期(1150  
年頃)の作と推定される薬師如來  
の破損仏(像高24cm・木造)が1軀  
(東京博物館鑑定)があります。と  
ても神々しい尊像だと思っています。



平安後期作の薬師仏

住職歴54年、定時制教員と法  
務の二足鞋、西山三派仏蹟参拝  
全行程ほぼ参加、退職後の公職  
にも精を出しました。本堂・鐘樓・  
庫裏等の完工など、努力をして参  
りました。

それらは檀信徒をはじめ周囲  
からいただいたパワーです。それに  
感謝するのみです。

という僧が堂宇を小山(現在の  
地)に建立し、高雲庵と名づけ開  
山としたと寺伝にあります。

そして、天明5年(1786)  
刈谷市に建立された本堂を、文久  
2年(1862)に当山に移築し

ました。それを改築して平成11年  
に現在の本堂を落成しました。年  
輪を経た柱・格天井などの重厚さ  
からは厳かな赴きと、木の香りで  
堂内は不思議な緊迫感があり、自  
然と仏心に包まれます。

海外研修でギリシャのアテネの  
高校で、懇談会の時に仏教の話が  
出て、「ナムアミダブツ」を解説し  
たことを覚えています。通訳が困  
惑するほど口角泡を飛ばす勢い  
で話し、喜ばれたことが心に残っ  
ています。

住職歴54年、定時制教員と法  
務の二足鞋、西山三派仏蹟参拝  
全行程ほぼ参加、退職後の公職  
にも精を出しました。本堂・鐘樓・  
庫裏等の完工など、努力をして参  
りました。

Q4

【座右の銘】  
何ですか?

他に「蒲郡名木50選」に選ばれ  
ています大イチヨウ。根回り4.14  
mで実なり、晚秋には見事に黃  
葉を見せます。



▲本堂



▲三州上戸 禅居寺公

【交通】  
JR「三河三谷」駅下車 北へ徒歩15分

## 【主な行事】

善光寺如来七草会	2月第1日曜日
春彼岸会	彼岸中の日曜日
弘法大師会	旧3月21日
開山忌会	6月第1日曜日
施餓鬼会	8月8日
薬師会	11月11日
西山忌会	12月第1日曜日
除夜の鐘	12月31日
相撲甚句会	毎月第2土曜日

## 【お問い合わせ】

高雲寺 〒443-0011  
愛知県蒲郡市豊岡町長田7  
TEL 0533-67-5971

【直後に急逝されました】  
お寺と校長先生の重責を両立された  
エネルギーな方でしたので、にわか  
には信じられない思いです。張りのある  
お声の相撲甚句が、今も耳に残ります。  
心よりお十念を捧げます。